

第4学年 国語科学習指導案

研究主題

どの子ども自信をもって書くことができる指導法の工夫
ーモデル文や文集「練馬の子らを活用して」ー

めざす児童像

- 相手や目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にし、段落相互の関係に注意して書くことのできる子
- 自分の思いや考えを書くための材料を意欲的に収集・選択し、進んで書こうとする子
- 書いたことを発表し合い、友達の考えを受け止めて更に考えることのできる子

1. 単元名 いろいろな仕事について知ろう

2. 教材名 「写真と文章で説明しよう」

3. 単元の目標

- ◎職業や取材への興味・関心をもち、関心のあることから書くことを決め、進んで材料を集めることができる。【関心・意欲・態度】
- ◎書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら段落相互の関係に注意し、「使いたい表現」使って文章を書くことができる。【書く】
- 書く上で必要な事柄をメモすることができる。【書く】
- 文と文のつながりに注意しながら書くことができる。【言語事項】

4. 評価規準

国語への関心・意欲・態度	・職業や取材への興味・関心をもち、進んで材料を集めようとしている。
書くこと	・書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させて書いている。 ・「使いたい表現」を使い、内容のまとまりごとに段落に書き分けている。 ・書く上で必要な事柄をメモしている。
言語事項	・文と文のつながりに気を付けて書いたり推敲したりしている。

5. 単元について

(1) 設定の理由

本単元では、調べたことをもとに説明文を書く活動を行う。その際、写真に対応する説明の文章を、アップの視点で記述したり、ルーズの視点で記述したりする、いわば「文章表現のカメラワーク」やその効果を意識した構成および記述に指導の中心を据えたい。その意味で、写真の組み合わせは、情報を具体的に伝える効果と並んで、言葉による情報発信のしかたに影響を及ぼすことになる。

また、本単元では、インタビューによる取材が組み込まれている。相手と円滑に関わろうとする態度や、相手のよさを引き出そうとする意識をもって臨ませたい。取材が有効的に行われるためには、5W1Hを手がかりとしながら、事前に尋ねたい項目を整理することが大切である。

取材して調べたことを書く活動は、新聞や報告文等を書く活動にもつながり、児童の今後の書く活動にも有効であると考ええる。

(2) 学習材について

この時期の児童は、どのような職業があり、その内容はどのようなものなのかに興味を持っている。自分の興味のある仕事について取材を通して調査することや、皆でその情報を共有することは、二分の一成人式を迎える児童にとって楽しく、有意義な活動になるだろう。児童にとって、家族や家族以外の大人とインタビューを通して話をするという経験は、新鮮であり、職業観をもつことにもつながるであろうと考える。

6. 主題に迫るための指導の工夫

(1) 児童の興味・関心を高める単元計画の工夫

夏休み中は、子供たちの活動範囲が広がり、様々な職業に触れる機会も多いと思われる。また、取材をする時間を十分に取ることができることも考え、取材を夏休みの課題とした。興味のある仕事についての選択肢を広げ、興味・関心をもって楽しんで取材をしていくことができるようにした。

(2) 文集「練馬の子ら」の活用

「練馬の子ら」の作品は、同じ練馬区内の小学生が書いた作品ということで、児童に親しみやすく、分かりやすいものである。モデル文としても価値のある作品が多数寄せられている。

本単元では、文集「練馬の子ら」60号掲載の作文をモデル文として活用した。この作品は、段落構成、使いたい表現、説明の分かりやすさなど、子供たちの参考になる作品であると考ええる。

この作品をモデル文とするにあたり、個別教材を同じ段落構成で書かせることを考え、取材メモを「仕事の内容（全体に注目して）」「仕事場の様子（ある一部分に注目して）」「この仕事でよかったと思うこと、苦労していること、工夫していること、など」の項目で作成した。

7. 指導計画（国語全6時間）

次	時	学習活動	☆手だて ○指導上の留意点 ◆評価【方法】					
1	第1次	<p>○自分の周りにはいる人がどんな仕事をしているか話し合う。</p> <p>○取材メモから、インタビューの内容を確認し、インタビューするとき気を付けることを確認する。</p>	<p>○自分たちの周りにはいる人がどんな仕事をしているかや夏休みに出かける場所ではどんな職業の人に出会えるかを話し合うことで、職業や取材への興味・関心をもたせる。</p> <p>◆職業や取材への興味・関心をもっている。【観察】</p> <p>☆文集「練馬の子ら」の作品を参考にして書けるよう、取材メモの内容と、モデル文の内容とがそろうようにして作成する。</p>					
取材と写真撮影（夏休みの課題）								
2	第2次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">モデル文「練馬の子ら」での学習</div>	<p>○文集「練馬の子ら」の作品を読み、文章構成をとらえ、「使いたい表現」を見付ける。</p> <p>○取材メモをもとに、文集「練馬の子ら」の作品を参考にしながら「初め」を書く。</p> <p>○発表して、交流する。</p>					
		<p>☆文章構成が分かるよう、青枠で囲ませる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">初め</td> <td>①何の仕事について説明するのか</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中</td> <td>②ルーズの写真の説明</td> </tr> <tr> <td>③アップの写真の説明</td> </tr> <tr> <td>④その他の仕事の内容や工夫</td> </tr> <tr> <td>終わり</td> <td>⑤まとめ</td> </tr> </table> <p>☆使いたい表現に赤でサイドラインを引かせる。</p> <p>〈使いたい表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんは、～で働く人の仕事について、くわしく知っていますか。 ・上の写真を見てください。 ・～そうです。 ・次の写真を見てください。 ・この他にも～ ・このように、～ など <p>◆モデル文の文章構成をとらえ、「使いたい表現」を見付けている。【練馬の子ら】</p> <p>◆「使いたい表現」を活用して書いている。【作文】</p> <p>☆表現するために必要な語句を増やしたり書き方を定着させたりするために、発表させる。</p>	初め	①何の仕事について説明するのか	中	②ルーズの写真の説明	③アップの写真の説明	④その他の仕事の内容や工夫
初め	①何の仕事について説明するのか							
中	②ルーズの写真の説明							
	③アップの写真の説明							
	④その他の仕事の内容や工夫							
終わり	⑤まとめ							
	第3次	<p>○個別教材を書くために一人一人が取材してきたメモを整理して、文章構成メモに書く。</p>	<p>☆モデル文を参考にして説明文が書けるよう、モデル文の組み立てと同じ形式の文章構成メモを書かせる。</p>					

		◆取材してきたことを整理して文章構成メモに書いている。【ワークシート】
2 次	第4 時 1 組 本 時	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;">個別教材での学習</div> <p>○取材メモをもとに、文集「練馬の子ら」の作品を参考にしながら説明文（「中」のルーズ写真の説明・アップ写真の説明）を書く。</p> <p>○書いた作文を友達と読み合い、推敲する。</p> <p>○発表して交流する。</p>
	第5 時	<p>☆モデル文を参考にできるよう、モデル文と「使いたい表現」を提示する。</p> <p>○文と文のつながりや「使いたい表現」を活用しているかについて、机間指導をしたり、全体で考えさせたりする。</p> <p>◆文章構成に気を付け、「使いたい表現」を活用して書いている。【作文】</p> <p>○文と文のつながりや「使いたい表現」を活用しているかについて考えるよう声をかける。</p> <p>◆交流し合って文と文のつながりを正しく直すことができている。【作文】</p> <p>☆表現するために必要な語句を増やしたり書き方を定着させたりするために、発表させる。</p>
	第6 時	<p>○グループの友達と作文を発表し合い、情報を共有し、将来の夢につなげる職業観をもつ。</p> <p>○聞く人は、写真と説明が対応しているか、仕事の内容が分かりやすく伝えられているか、などを考えながら聞くようにさせる。</p>

8. 本時の学習（4／6）

4年1組 指導者 村上美予子

（1）目標

モデル文（「練馬の子ら」の作品）を参考にしながら、文章構成に気を付けたり「使いたい表現」を活用したりして、取材したことを文章に書くことができる。

（2）本時の展開

過程	学習活動	☆手だて ○指導の留意点 ◆評価【方法】
導入	1. モデル文を見て、文章構成と「使いたい表現」を確認する。	☆文章を書くときの参考にさせるために、モデル文を提示し、文章構成と「使いたい表現」を確認させる。
展開	<div data-bbox="427 757 1209 902" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> モデル文（「練馬の子ら」の作品）を参考にして、 写真を説明する文章を書こう！ </div> 2. 取材メモをもとに、文集「練馬の子ら」の作品を参考にしながら説明文を書く。 ・「はじめ」の段落を振り返る。 ・「中」のルーズ写真の説明を書く。 ・「中」のアップ写真の説明を書く。 3. 書いた記事を友達と読み合い、推敲する。 ・友達の表現で直した方がよいと思うところを付箋に書いて貼る。 4. 発表して交流する。	○文と文のつながりや「使いたい表現」を活用しているかについて、机間指導をしたり、全体で考えさせたりする。 ◆文章構成に気を付け、「使いたい表現」を活用して書いている。【作文】 ○文と文のつながりや、「使いたい表現」を活用しているかについて、読んでよく考えるよう声をかける。 ◆交流し合って文と文とのつながりを正しく直すことができている。【作文】 ☆表現するために必要な語句を増やしたり書き方を定着させたりするために、発表させる。
まとめ	5. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○次回は、「中」のその他の説明や工夫、仕事をしている人の思いなどと「終わり」を書くことを知らせる。